

特発性大腿骨頭壊死症の病態の最大の特徴は、骨壊死が発生しても痛みはなく、その後、骨壊死巣が圧潰することにより痛みが出現するという病態です。骨壊死には、「発生」と「発症」という2段階のステップが包含されていることに何より注意が必要です。従って、本症に対するすべての研究や治療戦略は、「発生」と「発症」をターゲットとした以下の3つの段階に対して行われるといえます。

① 骨壊死発生の予防：病態解明が必須

疫学調査、ゲノム研究、骨壊死動物モデルの開発とそのモデルに基づいた予防法開発、などが行われてきました。そして、現在、SLE 新患者に対して、抗酸化薬(ユベラ[®])、スタチン(ピタバスタチン[®])、抗血小板薬(プラビックス[®])の3剤による骨壊死発生予防の臨床研究が、先進医療で行われています。

② 圧潰(発症)予防：圧潰メカニズムの解明が必須

圧潰メカニズムについて、有限要素法による解析が行われ、壊死部と健常部の境界部への応力集中が、圧潰の原因である可能性が高いことが判明しています。

③ 発症例に対する対策：有効な治療法の開発など

各種骨切り術の成績向上や人工物置換の長期成績などの調査、さらに、再生医療による治療の試みなど治療全般に関わる研究が該当します。

今後、本症に対する研究や治療を行う際、どのステップをターゲットとして研究を行うのかを明確にすると、より効率的な研究計画を立てることができます。そしてその際、今いったいどこまでわかっているのか、という背景を知る材料として、今回の特集は有用な情報源になると思います。

(山本卓明)

令和3年12月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.40 No.12

発行：年14回（年12回発行＋増刊号2回）

編集顧問 井上 一／高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 山崎正志／田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹

発行人 三澤 岳

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30

TEL 03-5228-2050 / FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 宮田ビル 5 階 TEL 03-3814-8541

福田商店広告部 〒540-0024 大阪市中央区南新町 2-4-3 グランドソレイユ 1 階 TEL 06-6231-2773